

勝英統括本部

農業振興計画



1. 取組方針

地域農業における担い手不足、高齢化といった課題に対応し、「持続可能な農業」を実現するため、安全・安心で安定的に供給できる産地づくりと消費者や実需者ニーズに対応した「農業生産の拡大」に取り組み、多様な販路の拡大や契約取引の拡大、関連企業との連携を進め、農畜産物の有利販売を実現し「農業者の所得増大」をめざします。

また、新規就農者の受入や集落営農の組織化・法人化、農業管理支援、農作業支援体制の整備による担い手育成・確保と担い手経営体の高度なニーズに対応する営農指導体制の強化をめざします。

2. 農畜産物の生産振興

米麦、広域重点振興品目、新規作物等の推進を通じて、JAの販売品取扱高の目標を設定し、生産農家の農業所得の増大を図ります。

1) 米集荷目標

(単位: 俵)

品 種 ・ 銘 柄	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
あきたこまち	27,800.0	30,000.0	30,000.0	29,000.0	29,000.0
コシヒカリ	22,600.0	26,000.0	26,000.0	26,000.0	26,000.0
ヒノヒカリ	600.0	500.0	500.0	500.0	500.0
きぬむすめ	11,500.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0	15,000.0
そ の 他	4,000.0	5,000.0	4,000.0	4,000.0	4,000.0
酒造好適米	3,100.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0	3,500.0
多 収 品 種	3,400.0	5,000.0	7,000.0	9,000.0	10,000.0
合 計	73,000.0	85,000.0	86,000.0	87,000.0	88,000.0
(うち買取)	26,600.0	28,000.0	28,000.0	28,000.0	28,000.0

1) -1 里海米

(単位:俵)

品 種・銘 柄	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
あきたこまち	1,200.0	1,400.0	1,600.0	1,800.0	1,900.0
コシヒカリ	1,400.0	1,600.0	1,800.0	2,000.0	2,100.0
きぬむすめ	1,200.0	1,400.0	1,600.0	1,900.0	2,000.0
合 計	3,800.0	4,400.0	5,000.0	5,700.0	6,000.0

2) 麦・大豆集荷目標

(単位:t)

品 種・銘 柄	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
黒 大 豆	200	355	355	355	355
スカイゴールデン(大麦)	60	60	60	60	60
キラモチ(モチ麦)	20	25	30	35	40
合 計	280	440	445	450	455

3) 広域重点振興品目(種)の生産・販売目標

産地化され、勝英地域の「顔」となっている作物のさらなる推進を図ります。

(単位:上段 生産面積 ha、下段 販売高 百万円)

品 目 名	平成30年度 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
黒 大 豆	464.0	470.0	470.0	470.0	470.0
	165	355	355	355	355
黒 枝 豆	内(24.0)	内(38.0)	内(40.0)	内(40.0)	内(40.0)
	34	45	50	60	60
アスパラガス	12.0	12.5	13.0	14.0	14.0
	66	80	100	110	110
白 ネ ギ	9.0	9.0	9.0	9.0	9.0
	20	30	32	33	33
モ モ	14.0	14.0	14.0	14.0	14.0
	28	35	36	37	37
ピオーネ	18.0	18.0	18.0	18.0	18.0
	37	31	37	38	38
シャイン マスカット	8.0	8.5	9.0	9.5	10.0
	21	18	21	22	22
合 計	525.0	532.0	533.0	534.5	535.0
	371	594	631	655	655

※黒枝豆の生産面積は、黒大豆の生産面積の内数です。

4) 新規作物の導入推進目標

担い手の意向や行政の奨励等を踏まえ、産地化をめざし、新規に導入を推進する作物の振興を図ります。

(単位:上段 植付本数 本、下段 生産面積 ha)

品目名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
作州栗	170 0.4	370 0.9	570 1.4	770 1.9	970 2.4
山椒	310 0.3	510 0.5	710 0.7	910 0.9	1,110 1.1
合計	— 0.7	— 1.4	— 2.1	— 2.8	— 3.5

5) 加工業務用の販売推進目標

全農と連携のもとに、加工業務用の契約栽培に取り組みます。

(単位:販売高 百万円)

品目名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
ハクサイ	2	4	4	5	5
カブ	16	18	20	20	20
合計	18	22	24	25	25

6) 畜産物の生産・販売目標

肉用牛は地域ブランド牛の産地維持、素牛は優良子牛の安定生産を図ります。

(単位:上段頭数 頭、下段販売高 百万円)

畜種	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
肉用牛	1,494 1,288	1,210 994	1,187 974	1,247 1,023	1,280 1,050
子牛	229 163	190 123	200 130	215 140	215 140
合計	1,723 1,451	1,400 1,117	1,387 1,104	1,462 1,163	1,495 1,190

3. 担い手・新規就農者の育成

農畜産物の生産維持・拡大を図るため、担い手・新規就農者の育成に、県及び市町村と連携により、取り組めます。

1) 担い手経営体への対応

重点振興品目の作付推進、新規作物の導入等による多角化により、集落営農の組織化、法人化を図ります。

(単位:経営体)

経営体名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
認定農業者	274	278	283	288	288
集落営農組織	29	29	29	29	29
集落営農法人	17	18	19	20	20
合計	320	325	331	337	337

2) 新規就農者への対応

研修受入農家、空き農地・施設の活用により、新規就農者の受入れを実施します。また、帰農塾を開催することで定年帰農者等の多様な担い手の育成を行います。

(単位:経営体)

経営体名	平成30年度実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
新規就農者	6	6	6	6	6
合計	6	6	6	6	6

※単年度の経営体数です。

4. 生産者組織

(単位:名)

地 区	組織名	構成員数	備考
本 店	きゅうり部会	20	
	アスパラ部会	124	
	乾椎茸部会	6	
	茄子部会	5	
	和牛改良部会	34	
	養豚部会	2	
	肥育部会	13	
	ET改良部会	16	
	作州黒枝豆部会	169	
	担い手部会	218	
	青色申告会	29	
勝田地域 センター	作州黒部会	380	
	桃部会	34	
	ぶどう部会	45	
	栗部会	73	
	花卉部会	2	
	畜産部会	7	
	勝北山田錦部会	15	
	有機無農薬農産物生産研究会	6	
	苺部会	2	
	白ねぎ部会	65	
	芋部会	47	
	シキミ部会	5	
	豆部会	179	
	奈義町農用地高度利用生産組合連絡協議会	922	
英南地域 センター	勝田桃生産部会	10	
	勝田山田錦栽培部会	8	
	美作黒大豆生産者組合	142	
	たばこ耕作組合	2	
	英田ぶどう部会	9	
	英田山田錦生産部会	28	
	英田もち米生産部会	18	
英北地域 センター	ホウレンソウ生産者組合	6	
	りんどう生産部会	10	
	アスパラ部会	13	
	ぶどう部会	13	

平成31年3月末現在